

地域(亀山市)と連携の取れた三重県づくり

三重県議会議員 長田たかひさ 県政レポート

所属委員会

- ・健康福祉病院常任委員会 委員
(社会福祉対策、保険医療行政の推進、病院事業の運営等についての審査・調査)
- ・予算決算常任委員会 委員
(予算、決算など県財政についての審査・調査)
- ・地域経済活性化対策調査特別委員会 副委員長
(地域経済活性化対策についての調査)

長田たかひさ事務所

〒519-0124
亀山市東御幸町233-2

TEL 0595-82-8700
FAX 0595-82-8775

ホームページ
<http://www.enjoy-nagata.jp/>



◇皆様のご意見をお聞かせ下さい！

○第1回定例会(2月19日～6月30日)から

□県立博物館

(6月)新県立博物館概略設計(案)公表
(参考 <http://www.pref.mie.jp/SHINHAKU/HP/>)

□県立病院改革

(2月)県立病院改革に関する考え方(基本方針)(案)公表

- 1.総合医療センター(四日市市)
 - ・県立病院として維持。
 - ・運営体制について、一般地方独立行政法人へ移行。
- 2.こころの医療センター(津市)
 - ・県立病院として維持。
 - ・運営体制について、病院長を事業管理者とし、地方公営企業法全部適用による運営を継続。
- 3.一志病院(津市)
 - ・病院は、事業者へ移譲。ただし、地域医療を確保するため県として必要な支援策等について検討。
- 4.志摩病院(志摩市)
 - ・県立病院として維持。運営体制について、指定管理者制度を導入。
- 5.病院事業庁(県立病院経営室)
 - ・4つの県立病院を統括する病院事業庁(県立病院経営室)は廃止。

(参考 <http://www.pref.mie.jp/BYOKAIP/HP/kanrenshiryoku/kihonann-pubcom.pdf>)

(4月)健康福祉病院常任委員会による公聴会で、「県立病院改革に関する考え方(基本方針)(案)」について公述人による意見陳述及び質疑

(6月)「病院の姿」可能性詳細調査等事業を行うための経費として987万7千円を計上

□緊急雇用・経済対策

平成21年2月の平成20年度補正及び平成21年度当初予算による第1次を皮切りに、「雇用対策」「経済対策」「生活対策」を柱に21年6月末日現在までに4回にわたる緊急雇用・経済対策が講じられています。尚、7月以降も随時対策が講じられる予定です。

※合計金額は、四捨五入の関係で合いません

	第1次	第2次	第3次	第4次	合計
	20年度2月補正及び 21年度当初予算	21年度5月 補正予算	21年度6月補正 予算(6月4日提出)	21年度6月追加補正 予算(6月24日提出)	
雇用対策	3,596百万円	1,479百万円	49百万円	178百万円	5,302百万円
経済対策	2,691百万円	248百万円	20,252百万円	—	23,191百万円
生活対策	562百万円	154百万円	3,554百万円	3,657百万円	7,927百万円
合計	6,851百万円	1,881百万円	23,855百万円	3,836百万円	36,423百万円

《「緊急雇用・経済対策」の取組方針》(参考 <http://www.pref.mie.jp/kikakuk/hp/keizai.htm>)

1「雇用対策」

現状を打開するための緊急的な雇用の創出をはじめ、安定した雇用につながる事業を推進することで、状況に応じた多様な雇用機会を創出する。

- 雇用機会の創出 ○職業訓練・就労支援

2「経済対策」

中小企業等の経営の安定化に資する取組を進める。また、後年度に予定されている公共事業等の前倒し実施や環境配慮型製品の需要拡大を進めることで景気の底支えに資するとともに、中長期的な視点に立った産業施策を進めることで今後の経済成長への布石を打つ。

- 中小企業等経営安定化 ○チャンスづくり ○内需拡大

3「生活対策」

安定した雇用と力強い地域経済を支えるため、安全で安心できる県民生活を実現する各種の事業を展開する。

- くらしの安全 ○安心の確保と健康長寿 ○次世代・子育て